

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	生産局農業環境対策課	連絡先	03-3502-5951
所管する業務の概要	環境保全型農業、有機農業の推進、土壌保全対策、地球温暖化防止のための炭素の土壌吸収対策の推進、省エネルギー・省資源型農業の推進 等		

1. 基本的な心構え・行動			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
省改革に向けての課として取組姿勢（丁寧な接遇、国民視点の徹底等）を独自に取り決め、意思統一を図っている。		課員全員が、取り決めた取組姿勢を全ての場面で遵守するためには、さらなる意識向上が必要。取り決めを課員全員で再確認し、自己改革力の向上に努める。	
国民からの苦情、要請、情報提供を受けた場合の対応ルールを独自に取り決め、これに基づいた対応を行っており、具体的な対応結果については、情報の共有化を図っている。		引き続き対応ルールに沿って適切な対応を行い、国民からの要請、情報提供を真摯に受け止めるよう努力したい。	

2. 政策・事業等の企画立案・推進			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
政策目的や政策効果の説明、意見交換の方法、その結果を施策に適切に反映する方法についてルール化し、意思統一を図っている。 そのルールに沿い、 ①施肥改善・土壌診断ブロック会議 ②全国有機農業モデルタウン会議 ③農業環境施策に係る民間会社との意見交換会 ④有機農業に係る市町村等に対するアンケート調査		関係者との直接的な意見交換により、意思の疎通、業務の連携がスムーズになった点はあるものの、 ①普及組織、農協担当者等農業者の声を直接聞く立場にある人たちとの自由な意見交換の実施 ②パブリック・コメントの実施 等、さらに幅広く農業者の意見や国民のニーズを把握する手法を検討する。	

⑤有機農産物を取り扱う業者へのヒアリング等を実施し、主要施策の説明に努めるとともに、現場の実態やニーズの把握に努めた。	
事業推進に当たり、相談窓口の設置、説明会・相談会の開催、パンフレット・Q & A等のわかりやすい資料の作成、HPへの掲載などに努め、情報の現場への浸透と事業の理解促進に努めた。	一部で事業内容が現場に届いていないケースが明らかとなり、情報を浸透させるための更なる方策が必要。情報提供のルート、ツールの多様化を図る。

3. リスク管理			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
外部からの情報提供等をもとに業務の見直しを行い、リスクの顕在化の防止に努めている。 例えば、 ①省エネ施設の導入に係る補助事業では、事業費の適正性を確認するため、全国的に価格情報を収集し分析した。 ②土壌改良資材に不適切な表示が行われているとの情報提供があったことから、今後同様の事例が起きた場合に速やかに対応できるよう、マニュアルを整備することとした。 ③大臣賞受賞者が法令違反により処分を受けた事例があったことを踏まえ、要領に表彰の取り消しがあること及びその事由を明記した。		外部から寄せられた情報の分析、検証はもちろんのこと、自らが業務の見直しを進め、早めに対応策を講ずる取組を進める。 また、それぞれの者が顕在化した問題に対し、的確・迅速に対応できるよう、問題意識の共有化を図る。	

4. 食の安全に関する取組			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	

農作物中のカドミウム濃度の低減に寄与する土壌汚染防止対策を進めており、産地における安全な農作物の確保の観点に加え、消費者である国民の健康保護の観点からも事業推進に取り組んでいるところ。 土壌汚染防止対策の産地向けパンフレットを作成するなど、その普及に努めた。	産地レベルで事業が浸透しておらず、PR 不足であり、情報提供のルート、ツールの多様化を図る。
--	---

5. その他の重要な取組			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
課員の資質及び意識の向上のため、当課の重要施策課題について勉強会を開催し、意見交換を実施した。		担当業務の推進のためにも、政策課題について問題意識を持つことが重要なため、取組の強化を図る。	